

病院再編統合にかかる事業計画書

作成日：令和 年 月 日

郡上市民病院
八幡病院

目次

I.	本事業にかかる統合再編病院等の概要	3
1.	郡上市民病院.....	3
2.	八幡病院	4
II.	構想区域における現状と課題.....	5
III.	統合計画の概要.....	6
V.	具体的計画について	7
1.	統合後の診療体制	7
2.	統合後の新病院候補地.....	7
3.	廃止病院における既存債務の処理方法	8
4.	統合完了予定年月日	8

I. 本事業にかかる統合再編医療機関の概要

中濃圏域における郡上市民病院の役割分担としては、郡上市民病院が郡上地域の急性期医療の中心的役割を担うこととして位置付けされている。

このような構想が示される中、新型コロナウイルス感染症流行後、外来の受診形態の変化、入院患者の病態変化等、また、急激に進行する人口減少に伴い、受診患者数の減少により経営状況の影響、医療スタッフ確保の課題など、地域医療提供体制の継続に疑問が生じ始めてきている。

郡上南部地域の医療提供体制を維持継続することを目的として、八幡病院と郡上市民病院の話し合いが開催され、入院機能を統合し医療スタッフの異動等により南部地域の入院医療提供体制を強固なものとすることで、この度の再編統合を推進することとした。

1. 郡上市民病院

平成16年3月1日、平成の合併により郡上市が誕生し、それまで広域行政事務組合で運営されていた郡上中央病院が郡上市民病院となり、平成18年新病院が建設され、急性期、慢性期の入院機能を持った病院として、救急医療にも対応し、医療を提供している。

医療機関名称	郡上市民病院
開設主体	郡上市
所在地	岐阜県郡上市八幡町島谷1261番地
構想区域	中濃圏域
許可病床数	総許可病床数 150床 急性期 100床、慢性期 50床
稼働病床数	総稼働病床数 116床 急性期 96床、回慢性期 20床 休棟等 34床
1日あたり患者数 (稼働率)	入院患者数 91.9人/日 (79.2%) 外来患者数 335.5人/日
標榜診療科	内科、循環器内科、小児科、精神科、心療内科、整形外科 脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
職員数	合計 270人 154人 (116人)
(医師)	16人 (27人)
(看護職員)	86人 (33人)
(専門職)	41人 (43人)
(事務職員)	11人 (13人)

1日当たりの患者数：令和6年度実績

職員数：令和7年3月31日現在

2. 医療法人新生会 八幡病院

1925年坂本医院が前身となり開業し2025年で100周年となる。1974年に現在の建物となり、以後、地域に根差した医療を提供している。

建築後50年を経過した建物の老朽化が進み、躯体、設備ともに大掛かりな投資が必要となっている。別棟において「八幡デイケアセンターなごみ」を開設し、自立支援のサービスを提供している。

医療機関名称	八幡病院
開設主体	医療法人新生会
所在地	岐阜県郡上市八幡町桜町278番地
構想区域	中濃圏域
許可病床数	総許可病床数 38床 急性期 38床
稼働病床数	総稼働病床数 38床 急性期 38床 休棟等 0床
1日あたり患者数 (稼働率)	入院患者数 28.9人/日 (71.9%) 外来患者数 95.3人/日
標榜診療科	内科、消化器内科、循環器内科、皮膚科、眼科、小児科 リハビリテーション科
職員数	合計 114人 77人 (37人)
(医師)	2人 (12人)
(看護職員)	21人 (13人)
(専門職)	41人 (9人)
(事務職員)	13人 (3人)

II. 構想区域における現状と課題

郡上市の人口は合併以降も減少し続けており、国立社会保障人口問題研究所によれば2050年には21,763人となると推計されている。生産年齢人口においては2050年には8,678人の推計値である。

これらの人口推計も踏まえ、郡上南部地域の医療の確保を課題として、八幡病院、郡上市民病院、郡上市医師会、郡上市の長による懇談会が開催され、機能統合についての協議が行われた。

八幡病院、郡上市民病院の課題として、医師・看護師をはじめとする医療スタッフの確保が今後さらに厳しくなると懸念される事項として挙げられた。

また、八幡病院においては常勤医師の確保の課題、施設及び設備の老朽化、郡上市民病院においては、看護師の不足により一部病床を休床して運営していることなどの課題が共有された。

これら洗い出された課題を解決するため懇談会が進められる中で、郡上市民病院においては、八幡病院の入院機能のすべてを担うことにより、看護師をはじめとした医療スタッフの確保の課題等を解決につなげることとした。一方、八幡病院においては、入院機能を郡上市民病院に移すことで無床診療所となり、現在の診療科を継続して外来診療を行っていくこととした。なお、八幡病院の入院機能がなくなることで余剰となる医療スタッフの一部を郡上市民病院が採用することで、不足する医療スタッフを充実する計画を推進することとなった

III. 統合計画の概要

- ・郡上市民病院と八幡病院の入院機能の統合を行う。
- ・八幡病院の入院機能すべてを削減し、診療所として現状の診療科で運営を継続。
- ・郡上市民病院は、急性期病床等を急速に進む少子高齢化と人口減少を鑑み縮減する。



機能	稼働病床数	許可病床数				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期
高度急性期	床	床	96床	床	48床	144床
急性期	100床	96床	48床			
回復期	床	床				
慢性期	50床	48床				
休棟等	床					
病床数合計	150床	144床				

機能	稼働病床数	許可病床数				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期
高度急性期	床	床	96床	床	48床	144床
急性期	38床	38床				
回復期	床	床				
慢性期	床					
休棟等	床					
病床数合計	38床	38床				

機能	許可病床数
無床診療所として、現状の診療科で運営	

V. 具体的計画について

1. 統合後の診療体制

- ・郡上市民病院の一般病床を96床、療養病床を48床に縮減する。
- ・八幡病院においては、入院機能を廃止し、外来機能については現状のまま診療所として医療を提供する。
- ・八幡病院の入院機能を廃止したことにより余剰となる医療スタッフの一部を、郡上市民病院のスタッフとして採用し、不足する医療スタッフを補う。
- ・郡上市民病院はスタッフ不足で休床していた療養病棟の病床を複床し、八幡病院にて入院療養していた患者を受け入れる。

病院名称	郡上市民病院	八幡病院
構想区域	中濃圏域	中濃圏域
許可病床数	144床	0床
区分ごとの病床数	高度急性期 0床 急性期 96床 回復期 0床 慢性期 48床	高度急性期 0床 急性期 0床 回復期 0床 慢性期 0床
標榜診療科	内科、循環器内科、小児科、精神科、心療内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリ科	内科、消化器内科、循環器内科、小児科、皮膚科、眼科、リハビリ科

2. 統合後の新病院候補地

- ・病院再編機能統合後において、八幡病院は診療所として、郡上市民病院は今までの診療体制により、それぞれの所在地にて医療提供を継続する



3. 廃止病院における既存債務の処理方法

八幡病院において使用していた医療機器の一部については、郡上市民病院に移設し利用を検討する。八幡病院の施設については、診療所として利用を継続することとしている。

4. 統合完了予定年月日

統合完了予定日については、令和8年2月末の完了を目指し推進する。

患者の移送計画、職員の異動など状況を鑑みながら隨時進めていく予定としている。

統合完了予定年月日	令和8年2月28日
-----------	-----------

■総括表

番号	統合関係医療機関の名称	統合後の状況						統合前の病床数						病床融通数						対象3区分からの転換数				
		統合後の状況			統合前の病床数			統合後の病床数			統合前の病床数			病床融通数			対象3区分からの転換数			支給対象 病床数				
		高 度 急 性 期	急 性 期	計	高 度 急 性 期	急 性 期	計	高 度 急 性 期	急 性 期	休 棟	高 度 急 性 期	急 性 期	休 棟	高 度 急 性 期	急 性 期	休 棟	計	回 復 期	介 護 医 療 院	支給対象 病床数	対象3区分 病床稼働率	一日平均 実働病床数	支給申請額	
I	郡上市民病院	存続	150	0	100	0	50	0	144	0	96	0	48	0	0	0	0	0	0	0	6	74.0%	111	16,416
II	八幡病院	廃止(病院運営停止)	38	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	81.1%	52	129,960
III			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
IV			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
V			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
VI			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
VII			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
VIII			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
IX			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
X			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	小計		188	0	138	0	50	0	144	0	96	0	48	0	0	0	0	0	0	0	44			146,376

支給対象病床チェック	統合前の対象3区分の総病床数	統合後の対象3区分の総病床数	削減数	支給対象 総病床数
○	188	144	44	44

病床融通数合計	総病床融通数
○	0

1以上の病院院長チェック	統合関係医療機関の対象3区分の病床減少数 (病床融通所化・診療所化も含む)	減少率
○	188	44

支給申請額(千円)	146,376
-----------	---------

■支給申請額算定シート

番号	代表医療機関の名称	開設者氏名			代表医療機関の住所・所在地		
I	郡上市民病院	郡上市長 山川弘保			岐阜県郡上市八幡町島谷1261番地		
	構想区域	統合後の状況					
	中濃	存続					

1	統合前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※3)の合計
	① 平成30年度病床機能報告		100		50		150	150
	② 令和2年4月1日時点(※1)		100		50		150	150
	③ 統合前病床数=②(※2)	0	100	0	50	0	150	150

※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。

令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。

平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいづれか少ない方を基準とする。

※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	統合後の許可病床数 (=統合後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
			96		48	0	144	144

3	他の統合関係医療機関との 病床融通数(※4)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
						0

※4 他の統合関係医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計			
		0		0			

5	減少病床数(1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	4	0	2	0	6	6

5.減少数	4.うち転換数	3.うち他院への 融通数	支給対象
6	0	0	6

6	統合前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告		100		50		150	150
	② 令和2年4月1日時点(※5)		100		50		150	150

※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

7	対象3区分の病棟の 年間住院患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計		
	① 平成30年度病床機能報告(※6)		29,825	10,710	40,535			
	② 令和2年4月1日時点(※7)				0			

※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間住院患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間住院患者延べ数=年間住院患者延べ数((48)欄に記載された数値)÷報告可能な対象期間(月単位)×12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

※7 6の①と6の②の値が同じ場合は7の②の入力は不要。

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数		
	A 平成30年度病床機能報告	74.0%	111		適用
	B 令和2年4月1日時点	0.0%	0		

9	統合前の対象3区分の稼働病床 数から一日平均実働病床数まで の減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)	
		1,824	6	10,944	

10	一日平均実働病床数から統合後 の対象3区分の許可病床数まで の減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)	
		2,280	0	0	

11	重点支援区域における統合計画	該当	× 1.5	
----	----------------	----	-------	--

12	支給申請額(千円)	16,416
----	-----------	--------

■支給申請額算定シート

番号	統合関係医療機関の名称	開設者氏名	統合関係医療機関の住所・所在地
II	八幡病院	理事長 坂本 仁	岐阜県郡上市八幡町桜町278番地
	構想区域	統合後の状況	
	中濃	廃止（無床診療所化）	

1	統合前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分（※3）の合計
	① 平成30年度病床機能報告		38		27		65	65
	② 令和2年4月1日時点（※1）		38		0		38	38
	③ 統合前病床数=②（※2）	0	38	0	0	0	38	38

※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。

令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。

平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいづれか少ない方を基準とする。

※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期（以下同様）

2	統合後の許可病床数 (=統合後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
			0			0	0	0

3	他の統合関係医療機関との 病床融通数（※4）	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
						0

※4 他の統合関係医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計				
		0		0				

5	減少病床数（1の③-2）	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	38	0	0	0	38	38

5.減少数	4.うち転換数	3.うち他院への 融通数	支給対象
38	0	0	38

6	統合前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告		38		27		65	65
	② 令和2年4月1日時点（※5）		38		0		38	38

※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

7	対象3区分の病棟の 年間 在棟患者延べ数（人）	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計		
	① 平成30年度病床機能報告（※6）		10,481	8,778	19,259			
	② 令和2年4月1日時点（※7）		10,456	8,016	18,472			

※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1（病棟票）の（48）欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1（病棟票）において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間 在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間 在棟患者延べ数=年間 在棟患者延べ数（（48）欄に記載された数値）÷報告可能な対象期間（月単位）×12

（注） 報告可能な対象期間（月単位）は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例） 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間（月単位）=6

※7 6の①と6の②の値が同じ場合は7の②の入力は不要。

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用	適用する 病床稼働率
	A 平成30年度病床機能報告	81.1%	52		
	B 令和2年4月1日時点	133.1%	50		A

9	統合前の対象3区分の稼働病床 数から一日平均実働病床数まで の減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)	
		2,052	0	0	

10	一日平均実働病床数から統合後 の対象3区分の許可病床数まで の減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)	
		2,280	38	86,640	

11	重点支援区域における統合計画	該当	× 1.5	
----	----------------	----	-------	--

12	支給申請額（千円）	129,960
----	-----------	---------